

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

82

相互作用の結果

速かつ柔軟に進めること
の重要性を認識する

2019年12月、中国・武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まり、はや1年が経過しようとしている。感染者数は既に5000万人を超え、いまだ感染拡大に歯止めがかからず、世界は終わりの見えない感染症との戦いの最中にある。

社会に広く発信

さまざまな領域の人文・社会科学研究が重要で

国・武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まり、はや1年が経過しようとしている。感染者数は既に5000万人を超え、いまだ感染拡大に歯止めがかからず、世界は終わりの見えない感染症との戦いの最中にある。

社会に広く発信

さまざまな領域の人文・社会科学研究が重要で

速かつ柔軟に進めることの重要性を認識するあり方について提言を行うべく、医科学・生命科学、公衆衛生学、社会科学などの研究分野から、また自治体・保健・医療の現場から有識者を招いてワークショップを開催、議論

社会に広く発信

さまざまな領域の人文・社会科学研究が重要で

速かつ柔軟に進めることの重要性を認識するあり方について提言を行うべく、医科学・生命科学、公衆衛生学、社会科学などの研究分野から、また自治体・保健・医療の現場から有識者を招いてワークショップを開催、議論

社会に広く発信

さまざまな領域の人文・社会科学研究が重要で

速かつ柔軟に進めることの重要性を認識するあり方について提言を行うべく、医科学・生命科学、公衆衛生学、社会科学などの研究分野から、また自治体・保健・医療の現場から有識者を招いてワークショップを開催、議論

社会に広く発信

さまざまな領域の人文・社会科学研究が重要で

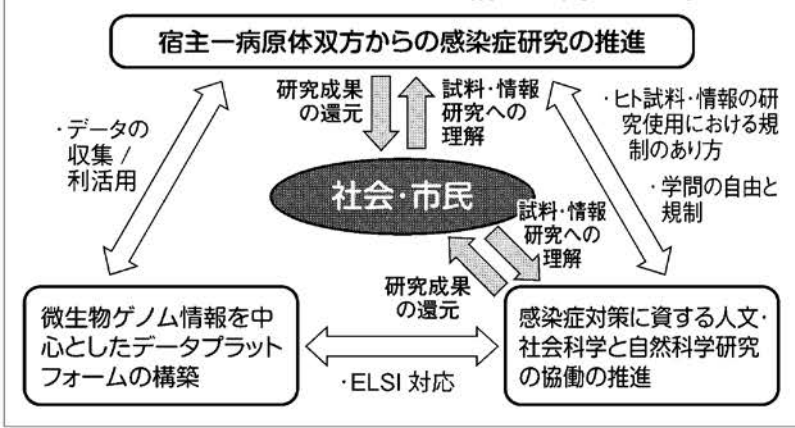
感染症に強い国づくり 統合的研究を推進

科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター 立川 愛
特任フェロー(ライフサイエンス、臨床医学ユニット)



国立感染症研究所エイズ研究センター室長。東京大学医学部保健学科卒、東大医科学研究所先端医療研究センター感染症分野准教授を経て、15年より現職。専門はウイルス学、感染免疫学。博士(医学・東大)。

感染症に強い国づくりに向けた 感染症研究プラットフォームの構築に向けての提案



い。科学だけでは答えられない。科学だけでなく、支援を得ながら感染症対策を考えていくことが重要であるという結論に至った。詳細は、CRDSのウェブサイトで公開している報告書を参照されたい。(金曜日に掲載)